

式 辞

学校の木々や草花も一斉に花を咲かせ、まさに春爛漫の季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございませう。ただ今、担任の先生の呼名に元気よく返事し、起立した78名の皆さんは、ただ今より津田中学校の生徒となりました。教職員一同、皆さんの入学を心よりお祝いし、歓迎いたします。

新入生の皆さんは、希望と不安が入り交じった複雑な気持ちでいることと思います。今日からいよいよ、新たな中学校生活が始まりますが、今日の喜び、そして、抱負や決意など、初心を忘れることなく持ち続け、3年後には充実感や達成感をもって卒業することを願っています。

中学校での3年間の生活は小学校の時と比べると、あっという間に過ぎてしまいます。その中学校生活を充実したものにするために、新入生の皆さんにお願いがあります。それは『自分を大切にしたい』ということです。自分を大切に

するということとは決して自分を甘やかす
ことでも、自分勝手に生活することでも
ありません。自分を磨き輝かせながら、
自分をさらに伸ばしていくということでは、
どのようないくことが自分を大切に
していることに繋がっていくのか、4
つのポイントをお話しします。

1つ目は「自分を傷つけない」という
ことです。もちろん自分の身体を自ら傷
つけることはあってはなりません。嘘
をついたり、人をだましたり、陰で嫌が
らせをしたりする行為もしてはなりません。
誰にも気づかれずに生活を続けてい
ても、自分の記憶は消すことができず、
少しずつ自分の心に傷をつけていくこと
になります。自分の心や体を絶対に傷つ
けないで下さい。

2つ目は「自分に限界をつくらない」と
いうことです。苦手だからそれはでき
ない、もうこれ以上は無理だ、など、自
分の限界を自分で決めてしまうことがあ
るかも知れませんが、でも、それでは、今
はまだ気づかない能力など、自分の可能
性に、自らふたをしてしまうことになり
ます。苦しかったり、辛かったり、難し

かったりしても、あきらめたり投げ出したりせず、わかるようになる、できるようになる、そんな気持ちで何事にも取り組みんで下さい。

3つ目は「自分以外を大切にすること」ということです。自分とかわるさまざまな人やものに感謝し、相手を認め、思いやること、相手に優しく接することは、間違いなく巡り巡って自分に返ってきます。周りに迷惑をかけていないかを考え、人との約束を大切にし、周りの人、ものを大切にする姿勢を身につけて下さい。4つ目は「夢や目標を持つ」ということです。夢や目標を持つことで、間違いなく、さまざまなものに真剣に取り組みたり、一日一日に充実感が持てたりします。そして、今まで諦めたり、流されたり、していたことにも、少しずつ立ち向かう勇気が生まれてきます。

今、お話した4つのことを意識しながら、自分を大切に、仲間と共に自分を磨き成長させていく、そんな中学生生活になることを心から期待しています。

さて、保護者のみなさま、改めまして、

おめでとうございます。本日から津田中学校の生徒として、お子さまをお預かり致します。思春期を迎える子供たちにとって、中学校生活は、義務教育の後半になると同時に、将来、しっかりと自立した社会人となるための準備期間でもあります。我々教職員一同、保護者のみなさまと緊密な連携を保ちながら、「勤勉・明朗・感謝」の校訓のもと、生徒一人ひとりを大切にし、お子さまの安全・安心な学校生活が送れますように全教職員で取り組んで参ります。つきましては、保護者のみなさまのご理解、ご協力をお願い致します。

結びになりましたが、ご多用のなか、ご臨席を賜りましたご来賓のみなさま、保護者のみなさまに重ねてお礼を申し上げますと共、今後とも本校教育に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞と致します。

令和六年四月九日

徳島市津田中学校長

川中 善暢

